

愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2024年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	専門演習Ⅲ		
担当者(Instructors)	吉村 道孝	配当年次(Dividend year)	4
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

専門演習Ⅰ・Ⅱで学んだ研究計画、調査・実験、分析、論文執筆、プレゼンテーションの一連の流れを主体的に深化させ進める。専門演習Ⅲは、各テーマにもとづいて研究をすすめていく。プロジェクトとして研究をオーガナイズし、卒業論文や卒業レポートをゴールに課題を遂行できる力を養うことを目的とする。そのため進捗に応じて対面とリモートの指導を使い分けて実施する。対面・リモートどちらでもパソコンを使用して作業をおこなう。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	演習形式でおこなう。自分自身でテーマを設定し、基本的に一人で卒業論文の作成に向かって課題をすすめる。講義中は随時、教員とコミュニケーションをとりながら課題をすすめる。定期的に各自の研究についてプレゼンテーションをおこなう。各自作業を進める場合もあり、進捗に応じて3回程度リモート授業を実施する予定である。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	興味関心領域の特定	卒業研究のテーマの方向性を決める。	<input type="checkbox"/>
第2回	先行研究の調査	研究テーマに近い論文を複数列挙する。	<input type="checkbox"/>
第3回	研究計画の立案	卒業研究の計画を作成する。研究法やアウトカムの設定をおこなう。	<input type="checkbox"/>
第4回	研究計画の発表1	卒業研究に向けて、研究計画を一人ずつ発表し研究遂行度を確認する1	<input type="checkbox"/>
第5回	研究計画の発表2	卒業研究に向けて、研究計画を一人ずつ発表し研究遂行度を確認する2	<input type="checkbox"/>
第6回	論文の構成	卒業論文の書き方について確認する。	<input type="checkbox"/>
第7回	論文の作成1	実際に論文を作成する。特にイントロ(目的)について書き始める。	<input type="checkbox"/>
第8回	論文の作成2	実際に論文を作成する。特に方法について書き始める。	<input type="checkbox"/>
第9回	調査の準備1	調査の場合は質問項目や変数を抽出し、実験の場合は実験プロトコルを先行研究を参考にして作成する。	<input type="checkbox"/>
第10回	調査の準備2	調査の場合は質問項目や変数の決定を、実験の場合は実験プロトコルの作成をおこなう。	<input type="checkbox"/>
第11回	調査依頼の仕方について	調査をおこなう際の依頼の仕方について学習する。	<input type="checkbox"/>
第12回	論文の作成3	実際に論文を作成する。イントロと方法について執筆する。	<input type="checkbox"/>
第13回	プロGRESS発表の準備	研究進捗発表の発表順の決定および発表準備をおこなう。	<input type="checkbox"/>
第14回	研究進捗発表1	研究の進捗について一人ずつプレゼンをおこなう。	<input type="checkbox"/>
第15回	研究進捗発表2	研究の進捗について一人ずつプレゼンをおこなう。	<input type="checkbox"/>

■授業時間外学習(予習・復習)の内容(Preparation/review details)

事前学習：自身で設定したテーマに関する論文を読む。また関連する領域の最新研究についても常にアップデートをおこなう(2時間)。事後学習：講義で学んだ点や、指摘された点について自分の成果物である論文執筆を進める(2時間)。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

一人ひとりの進捗やテーマに応じて、課題やタスクが毎回設定され、その振り返りをおこなう。プレゼンテーションや論文は適宜添削をおこない返却する。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)		
区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
思考力・判断力・表現力	◆ 2019人間健康DP2	1. 常にゴールを意識し、遅延なく計画をマネジメントできる。2. データ分析やプレゼンテーションなど、理論的な展開と作業ができる。3. 人を対象とした研究指針や、個人情報保護法など、法令や規則を理解できる。

■成績評価(Evaluation method)				
筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			60%	40%
授業内試験等(具体的内容)(Specific contents) 演習科目であるので、グループワーク・ペアワークなどの取り組む姿勢を「その他」として評価とする。また、毎回振り返りや小レポートをおこない、理解力や達成度を「授業内試験」として評価する。				

■テキスト(Textbooks)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	授業内容に応じて資料を配付する。	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	必要に応じて適宜紹介する。	
2		
3		
4		
5		